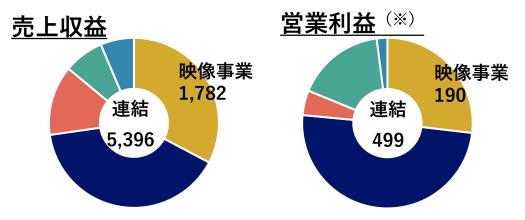
映像事業

常務執行役員 池上 博敬

2022年3月期 単位:億円



(※) 2022年3月期の営業利益割合は全社費用控除前で表示

主要製品・サービス

デジタルカメラ、交換レンズ、 双眼鏡・望遠鏡、映像コンテンツ、自動撮影



「NIKKOR」レンズ

ありたい姿

映像表現の可能性を広げ、世代を超えた 世界中のファンから圧倒的な支持を獲得

財務目標

	2023年3月期	2026年3月期
売上収益	2,100億円	2,000億円
営業利益	220億円	220億円
営業利益率	10%	11%

ありたい姿

映像表現の可能性を広げ、世代を超えた世界中のファンから圧倒的な支持を獲得

運営方針

√ デジタルカメラ

- ・高付加価値製品・ミラーレスカメラに経営資源集中 (プロ・趣味層の期待に応え、平均単価2割向上)
- ・レンズラインアップ拡充により強固な"Zマウントシステム"に(50本以上、レンズ付帯率2以上へ)
- ・動画機能を強化し動画クリエイターへ訴求
- ・プロのニーズに応える遠隔操作や自動撮影機能強化
- ・ライセンスビジネスに注力

✓ 双眼鏡、望遠鏡など

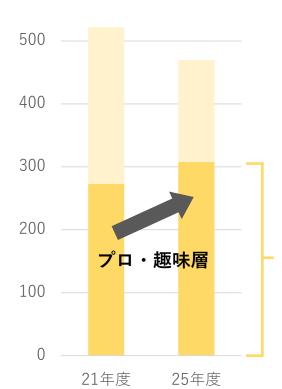
・ゴルフ用レーザー距離計、デジタル天体望遠鏡に注力

収益計画

売上収益2,000億円、営業利益率10%を安定達成



レンズ交換式カメラ市場規模 (万台)



プロ・趣味層向け

・ Z 9 で実現した先進機能をラインアップ展開

ファン層育成・拡大

・購入前後の エンゲージメント強化・アプリ・クラウド注力

市場、事業戦略、KPI

市場

レンズ交換式カメラ市場は、記録目的の初級機はスマホによる代替が進み縮小、 一方で動画など映像表現需要の広がりにより、プロ・趣味層の中高級機市場は増加、2025年度には 300万台規模で安定的に推移すると想定



中高級機市場:若年写真趣味層増加と動画利用用途の拡大

- ■Instagramでのレンズ交換式カメラの活用は過去6年間で 約2倍に増加
- ■20代以下のレンズ交換式カメラ購入動機は「スマホより キレイに撮りたい」と「SNSへの活用」が増加
- ■「動画撮影」が購入動機のユーザーが過去6年間で 3倍以上に増加

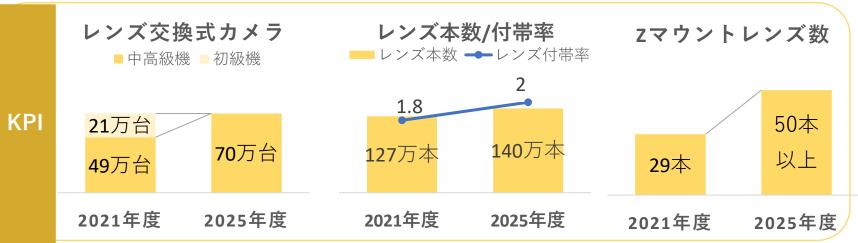
(当社調べ)

事業 戦略 プロ趣味層向け中高級機に集中

若年趣味層や動画ニーズに応え る商品やサービスの強化

レンズ拡充による収益基盤強化

ファンづくりの推進



商品戦略

動画性能が大幅進化した「Z9」の導入で、動画プロ・クリエイター市場の開拓が進んでいる



- ・カメラグランプリ2022 「大賞」「あなたが選ぶベストカメラ賞」ダブル受賞
- ・2022年1月~3月 「米国で最も売れたプロ向けフラッグシップカメラ」

従来動画専用機と比較して、優れたAF性能と大幅な 小型・軽量化によりワンマンオペレーションが可能に

- 8.3K60p 12bit RAW動画
- 防塵防滴、ファンレス構造で熱停止しない
- 2時間以上の長時間連続録画
- レンズ含む優れたAF性能
- 個人ユースでも購入出来る価格

プロやクリエイターのワークフローに応える動画用 カメラとして、「制作現場」や「放送局」などでの 採用が進んでいる





- ・ アクセサリー専門メーカーとの積極的提携で動画 撮影エコシステムに対応
- ・ 動画ラインアップを強化





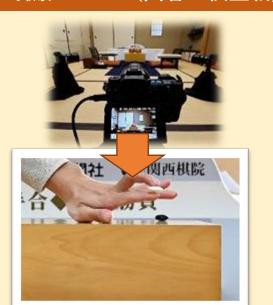


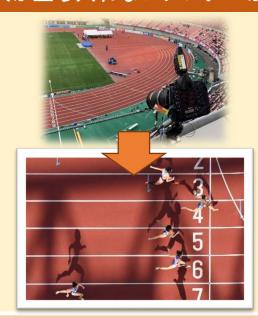
プロのニーズを支えるリモートワークフローの強化

これまでに実現できなかった感動的な瞬間の撮影ニーズに応え、現場で高い評価を獲得

集中のため静穏性が求められる 撮影シーン(囲碁 棋聖戦)

瞬間をダイナミックなシーンとして捉えるため、 人が立ち入れないアングルからの撮影シーン(スポーツ競技)







将来

決定的瞬間を"逃さず" 自動で撮影し"続ける" ことでこれまでにない 映像シーンの実現

安定性、即時性、機動 力などリモート撮影機 能のさらなる進化

プロより評価を頂いているニコンリモート撮影システムを支えるアプリ、ハードウェア



NX Field 複数台カメラコントロール と高速転送



NX MobileAir 画像情報の編集 スマートフォンからの高速転送





MRMC POD

フラッグシップカメラを 搭載する可動式カメラ雲台



※MRMCはニコンのグループ会社

成長ドライバー|映像コンテンツ

時間・空間を超えて人がつながる社会を映像制作技術で支える

社会・産業ニーズ

- ・新しい映像表現や人とのつながり
- ・コンテンツ制作のコスト削減
- ・再現性や効果の高い教育、遠隔作業支援

当社の強み

- ・ボリュメトリック/3Dキャプチャ/360°等映像技術
- ・マイクロソフト社3D撮像システムの国内唯一の パートナー企業

ビジネス展開

- ・外部人材招聘し「ニコン・クリエイツ」営業開始
- ・クリエイターや映像制作会社の表現を拡げる高度な 3D/4Dコンテンツを提供・制作支援
- ・自社製造現場で有効性を高めたVR/MRの外部提供





メタバース (シティーグループ 2022/4発表) 金額規模 : 約980兆~約1,600兆円(2030年)

ユーザー数:50億人(2030年)

対象市場 :芸術/メディア/広告/ヘルスケア/

マーケティング/セールス等





成長ドライバー|映像コンテンツ

デジタルツイン社会にむけて様々なコンテンツやソリューションを展開



19夏 ボリュメトリック映像 商品化 (英国 The Open)22春 ニコンクリエイツ営業開始 (日本)

クリエイターによる3D/4D空間創造に貢献

ボリュメトリック映像やLEDバーチャルプロダクションによる映像制作 ニコンの映像技術、ロボティクス技術により、高品位コンテンツとワークフローの 革新を実現

<u>3Dキャプ</u>チャリング技術

映像処理技術

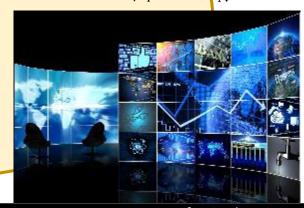
ロボティクス技術



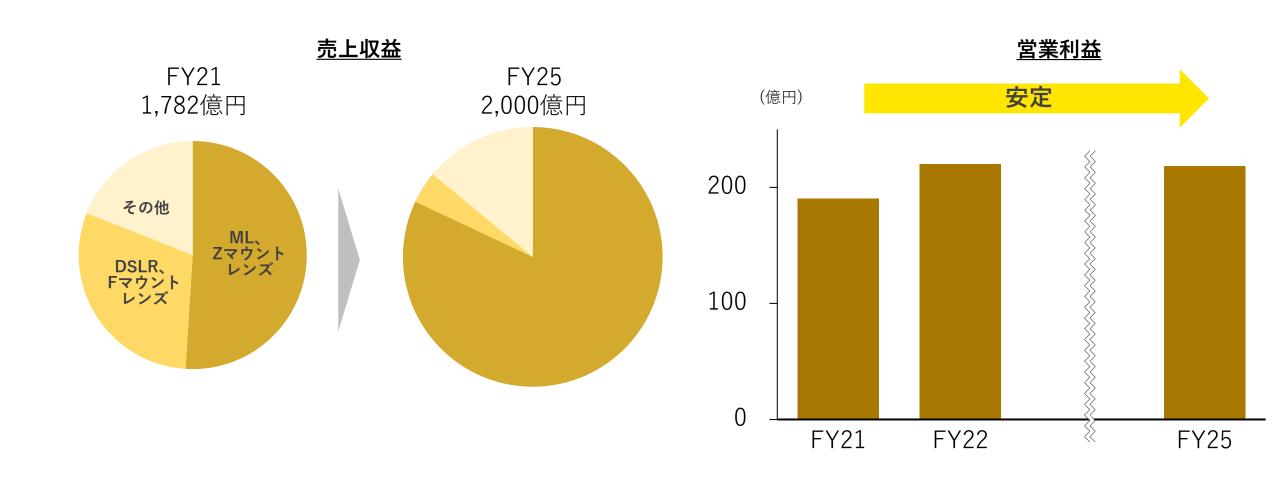
デジタルツイン社会に向け コンテンツを制作・供給



ボリュメトリック映像



LEDバーチャルプロダクション



中計期間中、200億円前後の安定収益で、ニコンブランドを支える